



社会教育委員だより No.35

令和6年4月1日 山北町社会教育委員会議
(山北町教育委員会生涯学習課内)

令和6年度となり社会教育委員も一期2年の後半の年となりました。研究テーマは昨年度に引き続き町教育委員会から諮問を受けた【民俗文化財の保護・継承について】に取り組みます。

前号 (No.34) でもお知らせしましたが、「少子化・高齢化・過疎化」という現状において、地域の伝統的な文化や芸能等を維持していくことが非常に難しい時代となっています。

そこで昨年10月の社会教育委員会議に国・県・町の指定を受けている町内の6つの民俗文化財保存団体の会長さんに出席をいただき、活動の現状や今後に向けた諸課題等について話し合いを行いました。



その話し合いの場で出た現状や課題等は次のような内容です。

令和5年度は会議を8回開催しました。写真は11月に開催した会議の様子です。

(1) 指導者や後継者の不足の問題

過疎化や高齢化、そして少子化とも大きく関わっています。特に祭りの「お囃子」に参加できる子どもたちが減ってきています。

(2) 活動資金の問題

保存会により公演の頻度に違いはありますが、実施するためにはかなりの経費が必要となります。古くからの伝統ということもあり、使用する備品や道具類の補修や買い替え等の出費は多額になっているようです。

(3) 古くからの伝統と時代の移り変わりとの兼ね合いの問題

「古き良き伝統」という言葉があり、何百年にも渡って受け継がれてきた「しきたり」もあります。「しきたり」とはそれぞれの地域や集団で古くから受け継がれてきた慣習ですが、今の時代にそぐわない内容も多くなっています。

(4) 小さな集落では伝統的な行事等の維持が難しいという問題

これも過疎化に関わる問題です。昔は小さな村単位でも実施できた行事が住民の減少で単独ではできない状況となっています。

令和6年度の社会教育委員会議では上記のような現状と課題等にどのように対応していけばよいのか、どのような手立てが必要なのかを検討していきます。その際に町民の皆さんがこれらの問題をどのように受け止めているのかを把握するために年度の中ごろにアンケート調査の実施を計画しています。全町民を対象としたアンケートではありませんが、もしお手元にアンケートが届いた場合は回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。



令和5年度の民俗文化財の公演の様子



山北のお峰入り【令和5年10月8日】
(山北駅前商店街)



山北のお峰入り【令和6年2月11日】
※「カナガワ リ・古典プロジェクト in 海老名」に出演
写真は海老名駅自由通路での道行き



室生神社の流鏝馬【令和5年11月3日】



世附の百万遍念仏【令和6年2月17・18日】
(向原・能安寺)

しらはた

白簀神社祭り囃子

無形文化財



曲目は「いぶれ」^{きょうぼやし}「京囃子」^{かずさばやし}「上総囃子」^{みやかぐら}「昇殿」^{しょうでん}「追廻し囃子」^{おいまわ}「おんがく囃子」^お「みあがり」の8曲があり、練り歩く場所や場面によって曲が変化するという特徴があります。

通常の祭り囃子とは異なる曲目を伝えることから、江戸系統以外の囃子である可能性も考えられます。

出典「歴史・文化から学ぶ わたしたちの山北(令和5年度版)」山北町教育委員会

＜白簀神社祭り囃子公演情報＞

白簀神社大祭での神輿渡御に際して祭り囃子をご覧いただくことができます。

開催日 令和6年4月7日(日)

場所 谷ヶ地区内

※祭り囃子は神輿と共に谷ヶ地区内を練り歩きます。

【神輿渡御の主な運行予定】

9:00 白簀神社 出発

9:40 畑沢 到着

10:10 JR谷峨駅 到着

11:10 谷ヶ公民館 出発

12:35 白簀神社 到着

13:00～ 閉式

★当日雨天の場合は神輿渡御は中止です。

★見学者用の駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。

町のホームページでも町内の民俗文化財を紹介していますのでご覧になってみてください。

